

教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	放射線治療専門医養成コース（正規課程）						
対象職種・分野	医学研究科博士課程大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<p>本養成コースは、がん患者の治療を計画、遂行するための専門的な知識と高度な医療を提供することが可能な人材を養成することを目的とする。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の状態を把握し、放射線治療の適応について適切に判断でき、チーム医療に貢献できる人材。 2. 放射線治療の種々のモダリティに精通し、治療効果、有害事象に基づいて最適な放射線治療法を説明、提供できる人材。 3. 放射線生物学、放射線物理学の基礎知識を身に付け、放射線治療に関する臨床研究を実践する能力を身に付けた人材。 						
修了要件・履修方法	医療科学系専攻の主科目21単位以上に加え、以下の【履修科目等】に記載のすべての科目を副科目として履修し、単位を修得すること。履修内容審査および学位審査に合格すること。						
履修科目等	<p>医療科学系専攻の主科目21単位以上に加え、以下のすべての科目を副科目として履修し、単位を修得すること。履修内容審査および学位審査に合格すること。</p> <p><医療科学系専攻主科目> 生命倫理学(1単位)、臨床疫学または基礎疫学(2単位)、医学統計学または基礎生物統計学Ⅰ・Ⅱ(2単位)、所属分野科目(特論・演習・実習)(計16単位)</p> <p><副科目> 基礎腫瘍学(2単位)、先端ゲノム医学(1単位)、緩和医療学(2単位)、臨床腫瘍学(2単位)、化学療法学(2単位)、臨床研究方法論(1単位)</p>						
がんに関する専門資格との連携	放射線科専門医（日本医学放射線学会）、放射線治療専門医（日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会）、がん治療認定医（日本がん治療認定医機構）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>1年時には、がん医療の基盤的知識及び幅広いがん治療に関する講義を実施する。2～3年次には、がんに対する化学療法、分子標的療法、外科的治療、緩和医療・リハビリテーションなどがんに関連する複数の診療科やがん専門施設（国立がん研究センター、がん研有明病院など）において、臨床現場での実習、症例検討、カンファレンスを体験するための臨床研修を実施する。4年次には、がん患者の治療計画をチームリーダーとして立案・実施する訓練を受け、専門的知識と技術を磨くとともに、がん治療認定医や放射線治療専門医の取得を目標とする。また、4年間を通じて、放射線生物学・物理学などの基礎研究・臨床研究・トランスレーショナル研究の進め方について学習し、放射線治療に関連する研究に従事する。</p>						
指導体制	<p>指導教授：茂松 直之（医学部放射線科学教室（治療）教授） 担当教官：深田 淳一（医学部放射線科学教室（治療）専任講師） 担当教官：花田 剛士（医学部放射線科学教室（治療）専任講師）</p>						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療専門医（放射線治療専門医取得） ・専門医取得後、大学病院やがん専門病院、地域のがん診療拠点病院などの臨床現場で放射線治療を行い、教育・研究活動にたずさわる。 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	0	1	0	1	3
受入目標人数設定の考え方・根拠	3つのがん拠点病院に放射線治療専門医を最低1人ずつ配置することを目標にし、今後5年間で3人養成する。過去の志願者数と入学ニーズ調査から隔年に1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を3人と設定。						
履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0